

R4-03

警察と連携した実践的な防犯教室の実施

- 管内 檜山管内
- 分類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 本活動を通じて、生徒の防犯意識の高揚を図る。
- 警察と連携を深めることにより、地域ぐるみでの防犯体制を確立する。

取組の実際

ねらい

- 地元警察署と連携して防犯教室を開催し、警察署員による防犯講話や実践的な護身術体験をとらして、生徒の防犯意識を醸成する。

内容

1 警察署員による防犯講話

- ★子どもも大人も「いかのおすし」や不審者と距離をとることが重要であるとの説明があった。
- ★イヤフォンやヘッドフォンを付け、音楽を聴いている時は、不審者が接近するなど周囲の状況変化に気付かないので注意が必要であることや、外出時に一人になる状況においては、いつも以上に注意が必要であることが指摘された。



【警察署員による防犯講話の様子】

2 実践的な護身術体験

- ★生徒同士がペアになり、警察署員の指導のもと、実践的な護身術を体験した。
- ★警察署員は、教職員に対して刺叉の使い方について実演を交えながら説明した。



【実践的な護身術体験の様子】

〈児童生徒の感想〉

- ・全校生徒で楽しみながら、「いかのおすし」の重要性を再確認することができ、また、実践的な護身術も学ぶことができた。自分の身を守るため、この防犯教室で学んだことを、今後の生活の中で生かしていきたい。

成果と課題

- 生徒の防犯意識を高めることができた。
- 地域ぐるみでの防犯体制を確立するため、今後も引き続き、警察と連携をしながら、防犯運動を継続的な取組が必要である。